

グローバル スコープ

2024年の国際社会も大きな波乱に見舞われそう。新年早々の台湾総統選挙で優勢が伝えられる民進党の賴清徳候補が勝利すれば、台湾海峡は緊張しそ。中国は対話路線を重視する国民党と異なり独立志向の強いと言われる民進党の勝利は好まないだろうし、5月の総統就任に向けて軍事的な牽制を行う可能性もある。23年11月の米中首脳会談で合意された米中軍事対話の意義が試されることになるの。米中首脳会談では対立はあっても衝突はなし

2024年の国際情勢



3月にはロシア大統領と
米国の対ウクライナ
軍事支援について共和
党との党派対立が起き
ているが、妥協しない限り、春以降の軍事支援は難しくなる。北大西洋条約機構（NATO）
バイデン大統領にとつて不安定な中東情勢は大統領選挙の不利な要素に（AFP時事）

いという原則や、麻薬対策や人工知能（AI）についての協力が合意されており、そのような両国関係が継続していくことになるのか。

領選挙だ。プーチン大統領が再選されるの。ろが、圧勝ということになるかどうか。80%を超えるような圧勝であれば、プーチン大統領は従来にも増してウクライナ戦争継続に強固な態度をとるのであろう。

米大統領選挙 世界を翻弄

○メンバーである欧州諸国も一枚岩ではない。11月の米大統領選挙に向け、おそらくトランプ前大統領は予備選挙を勝ち抜き共和党候補者となるの。ろが、プーチン大統領との良好な関係を喧伝してウクライナ戦争の停戦を主張するの。う。

その意味でもバイデン大統領に戦争を止める努力が求められる。ロシアが占領した20%の国土を軍事的に奪回するのは困難だとすれば、バイデン大統領の米国はウクライナの安全保障、領土回復のための道筋、復興支援などの全体像を描き、ゼレンスキー大統領とプーチン大統領を説得し、外交的合意を作ることを目指すべきなの。う。



日本総合研究所
国際戦略研究所
特別顧問
田中均

ガザの戦争について、今後イスラエルが国際社会の非難を無視して民間人を多数巻き込むガザ攻撃を続けることはイスラエルの信頼性を貶め、中東における紛争の拡大につながり、二国家共存の展望を損ね、ひいては米大統領選挙においても若者のバイデン離れをもたらすの。う。

（第2・4水曜日に掲載）
そして世界は11月の米大統領選挙に翻弄（ほんろう）されることになる。トランプ大統領の再来は、これらの国際関係の最大の地政学的リスクとなるの。う。